

名古屋港管理組合議会3月定例会 (2019年3月26日)

名古屋港管理組合議会3月定例会について

一、名古屋港管理組合議会3月定例会は、3月29日告示の県議・市議選挙を控え、3月26日1日のみの日程で行われました。

一、議案は2018年度補正予算案や2019年度予算案、条例改正案と人事案の計9件が提案されました。

一、一般質問には山口清明議員がたち、水族館の入場料への消費税転嫁、障害者の介護者入場料免除の拡充、国際バルク戦略港湾の見直しについて質問しました。

一、日本共産党は消費税10%増税分を転嫁する一般会計予算と施設運営事業会計予算、消費税転嫁条例、副管理者の選任の4件に反対しました。

一、浅井議員（元減税）は終日欠席しました。

3月議会の日程

月 日	会議	内容
3月19日(火)	議員総会	議案説明・資料要求 その他事務説明
	特別委員会	ガーデンふ頭にぎわい創出特別委員会
3月26日(火)	本会議	提案説明 一般質問・議案質疑 決算・人事の採決
	委員会	議案審査・意思決定
	本会議	委員長報告・採決

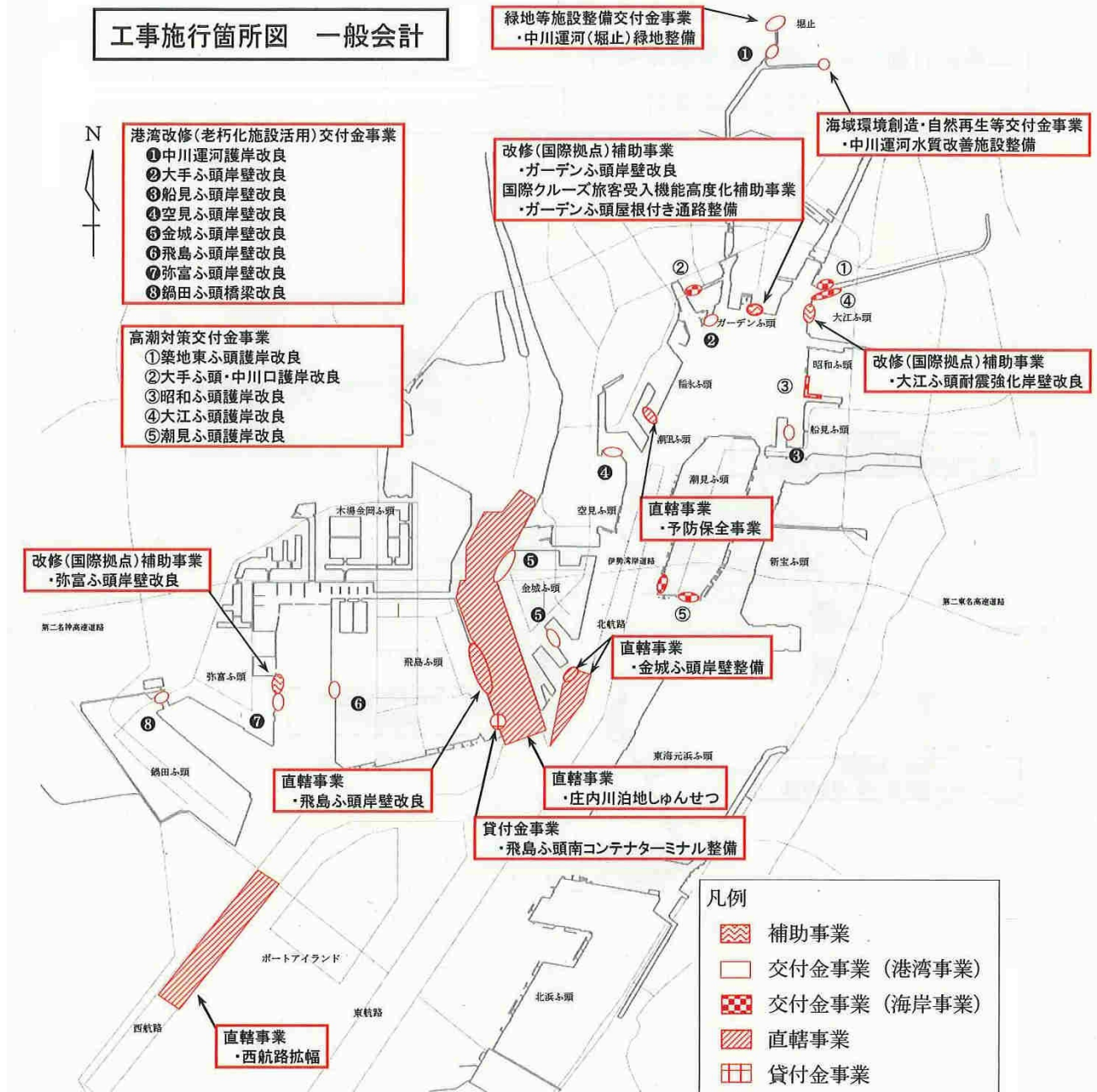
名港議会での議案に対する態度 (2019年3月26日)

2018年3月 名古屋港管理組合議会 議案一覧

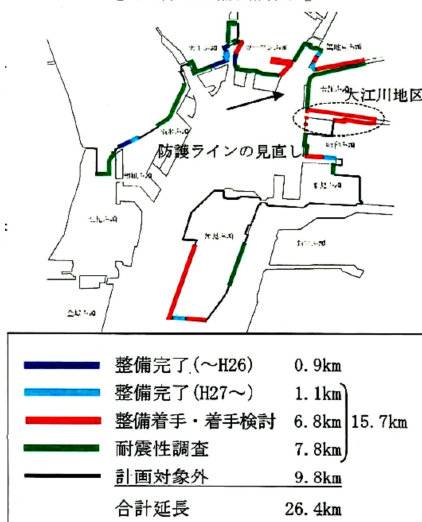
議案名	名古屋市会選出					県議会選出			結果	概要
	共	自	民	公	減	自	民	公		
2019年度名古屋港管理組合一般会計予算	●	○	○	○	○	○	○	○	可決	361億円。前年比33.6%増。県市負担金81億円。金城ふ頭と飛島ふ頭の岸壁改良など国際競争力・産業競争力の強化などに37億円増の75億円、安全確保、防災対策等に55億円増の120億円、ガーデンふ頭岸壁整備など親しまれる港づくりに28億円など。消費税を転嫁。
2019年度名古屋港管理組合基金特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	3.4億円。▲15.4%。水族館振興基金18.2%増、海事文化振興基金▲70.9%、環境振興基金▲19.6%。
2019年度名古屋港管理組合施設運営事業会計予算	●	○	○	○	○	○	○	○	可決	支出74億円。4.8%増。上屋36棟、貯木場8か所、荷役機械7基、ふ頭用地240万㎡。利用料40億円等。消費税転嫁
2019年度名古屋港管理組合埋立事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	支出45.5億円。19.5%増。西部臨海土地造成事業で、第1貯木場北及び南埋立地の護岸整備や用地整備など。
消費税及び地方消費税の税率の引き上げに伴う関係条例の整備に関する条例の制定	●	○	○	○	○	○	○	○	可決	港湾施設、港湾会館、水族館など8条例の消費税増税分の転嫁で使用料等に110/108と10円未満切り捨てなどの端数処理。水族館は大人2,000円が2,030円、小人1,000円が1,010円になるなど。
給与条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	国や県・市の給与改定に準じて初任給引き上げ、期末手当を4.4月から4.45月に引き上げ。専任副管理者の期末手当を3.3月から3.35月に。
権利の放棄及び和解	○	○	○	○	○	○	○	○	同意	中川運河沿いの公有地を使用していた事業者が破産して不法占拠状態になっていた状況を解消するため、現状回復請求を放棄し、破産者は所有権を放棄する。
副管理者の選任	●	○	○	○	○	○	○	○	可決	愛知県副知事 松井圭介
2018年度名古屋港管理組合一般会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	11億3400万円の補正。国の補正に伴う高潮対策交付金事業と飛島ふ頭と金城ふ頭の岸壁の直轄事業の増額及び内示との差額の精算。
2017年度名古屋港管理組合一般会計決算	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
2017年度名古屋港管理組合基金特別会計決算	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
2017年度名古屋港管理組合施設運営事業会計決算	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
2017年度名古屋港管理組合埋立事業会計決算	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	

○=賛成 ●=反対 / 共：日本共産党 自：自民党 民：民主党 公：公明党 減：減税日本ナゴヤ

工事施行箇所図 一般会計



【防潮壁整備箇所図】



防災対策

・防潮壁26.4kmのうち、地盤沈下部分のかさ上げは完了。液状化対策は2km完了。10年以内の着手検討の15.7kmのうち1.1kmが完了、6.8kmで着手。

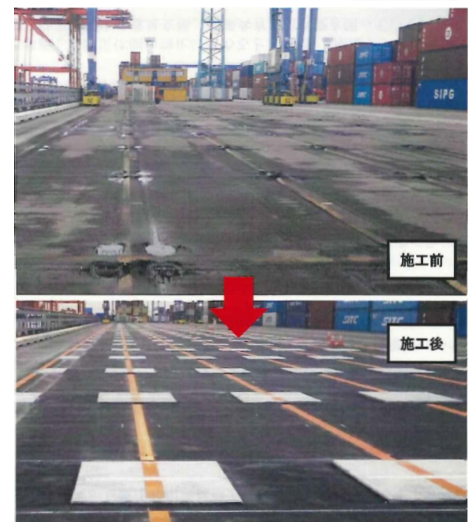
台風対策

・目標潮位NP6で検証した結果ハード対策は不要。

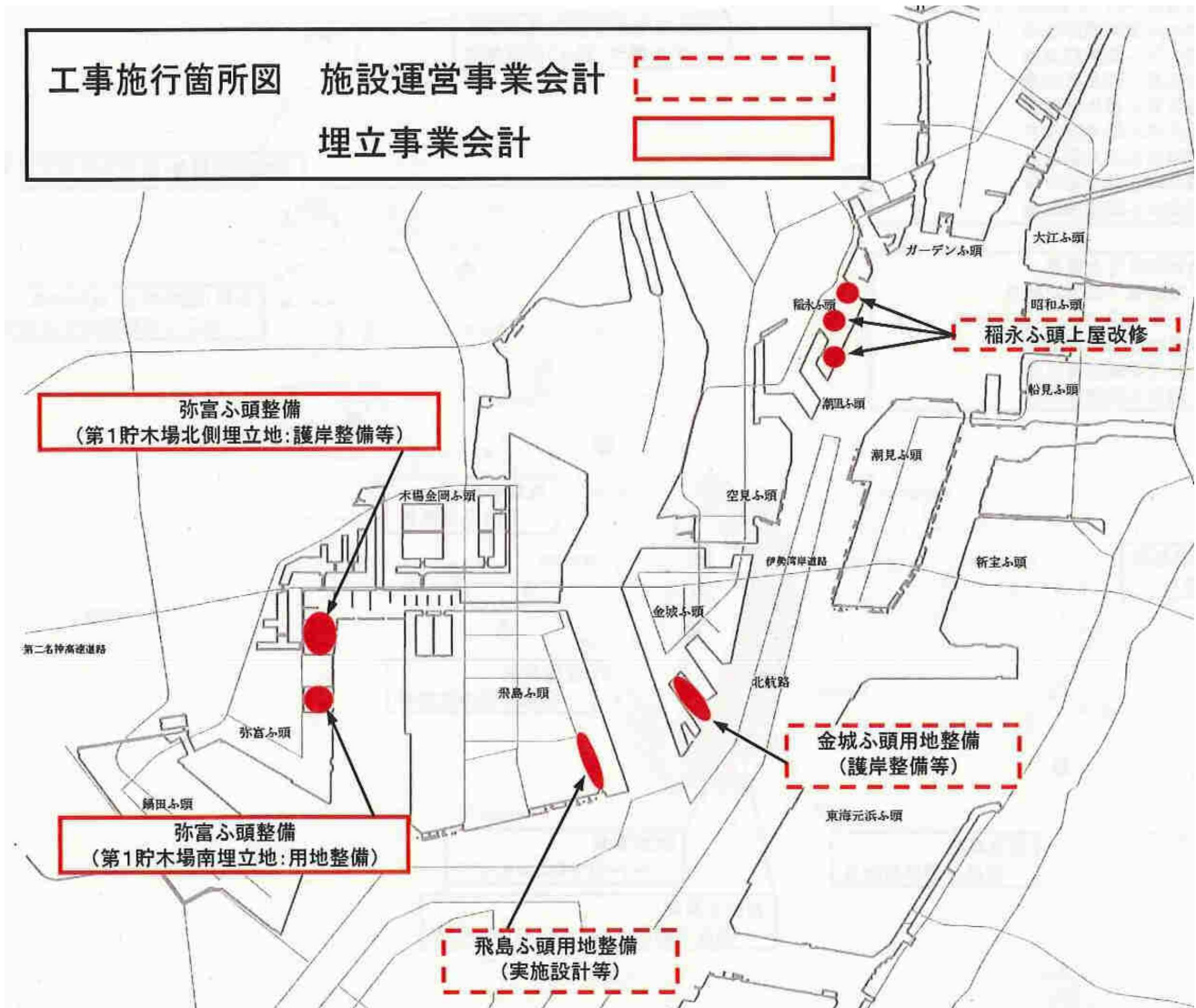
【対策目標潮位】

対策目標潮位	6.0m
伊勢湾台風最高潮位	5.31m
大阪湾台風21号潮位	4.70m
神戸湾台風21号潮位	3.74m
名古屋湾台風21号潮位	3.43m
東京湾平均海面	1.41m
名古屋港基準面	0.00m

※ 数値は名古屋港基準面(N.P.)表示

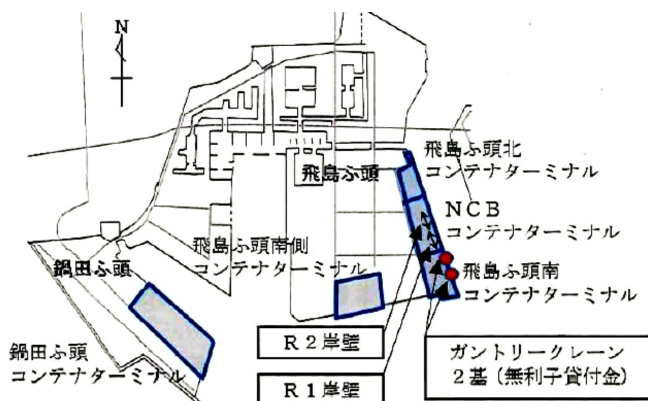


ヒアリ対策でのコンテナヤードの舗装改良を実施



飛島ふ頭と鍋田ふ頭でのコンテナ取扱機能の強化

- ・ R1とR2で増深(12m→15m)及び耐震化を計画。R1は着手済み
- ・ 無利子貸し付けでガントリークレーン2基の整備完了



完成自動車

- ・ 金城ふ頭に完成自動車取扱機能を集約、拠点化して専用線の大型化に対応するために、埋め立てに着手

埋め立て地

- ・ 分譲地は弥富ふ頭第1貯木場2.0haと飛島ふ頭第2貯木場7.2ha。
- ・ 新たに弥富ふ頭第1貯木場南に9.6haと稲永ふ頭3.3haが竣工し今後、整備予定。
- ・ さらに弥富ふ頭第1貯木場北で埋立着手。



分譲地(第1貯木場)	(約 2.0ha)
分譲地(第2貯木場)	(約 7.2ha)
分譲済み(平成27年度公募)	(約 2.9ha)
分譲済み(平成29年度公募)	(約 2.0ha)
JR東海貸付用地	(約 6.4ha)
第1貯木場南	(約 9.6ha)
第1貯木場北側	(約 17.0ha)



稲永ふ頭 (約 3.3ha)

名古屋港管理組合議会 3月定例会 一般質問（3月26日）

消費税増税での水族館入館料の値上げをやめよ／障害者の介護者入館料免除の拡充を／国際バルク戦略港湾の見直しを
山口清明議員

名古屋港水族館について

消費税増税に伴う入館料の改定は見送るべき

【山口議員】名古屋港水族館は、入館者数が二年連続で年間200万人を超えたとお聞きしました。多くの市民県民に親しまれており、2017年の名古屋市内観光施設入場者数ランキングでは、熱田神宮、ナゴヤドーム、東山動植物園につぐ第4位となっています。

この水族館の入館料ですが、5年前に消費税が5%から8%に引き上げられた際には、百円単位で端数処理をしたので大人個人の入館料は2千円のまま据え置かれました。大人の年間パスポートが5000円から5100円に100円値上げされました。

さて今回はどうか。名古屋港水族館条例の一部改正では、大人個人の入館料は2000円から2030円に、小中学生個人の入館料は1000円から1010円に、大人の年間パスポートは5100円から5190円にそれぞれ引き上げられます。

また愛知県在住の65歳以上の方は、1000円から1010円に10円値上げ。団体料金では20人以上100人未満の大人で1800円から1830円に30円の値上げ。4館共通券（水族館、南極観測船ふじ、名古屋港ポートビル展望室、海洋博物館）の大人料金は2400円から

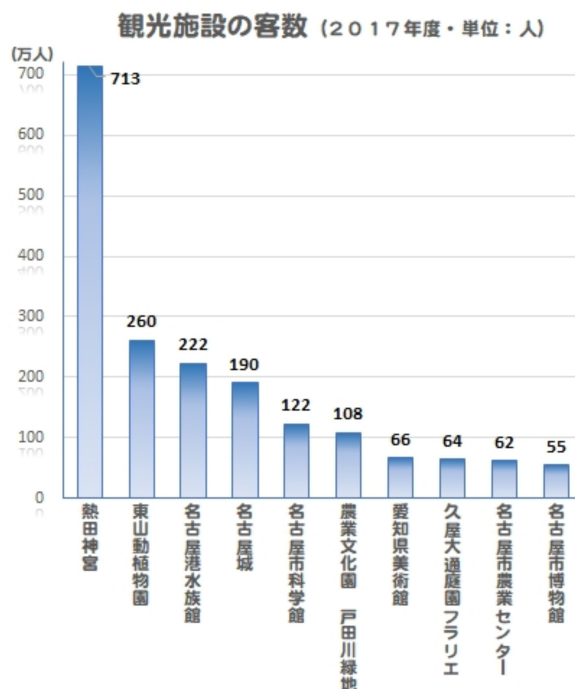
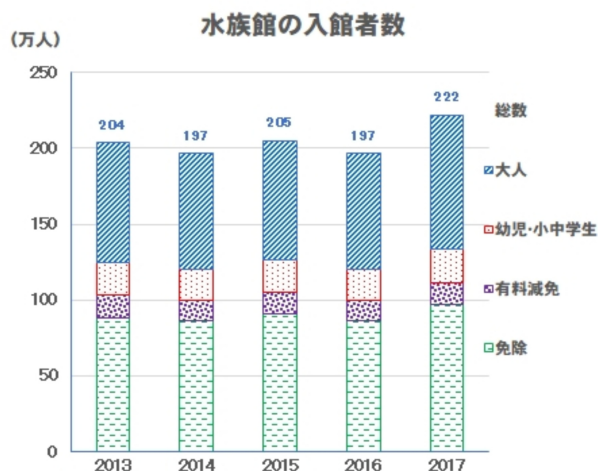
2440円に40円の値上げなどが予定されています。

市民県民から見ると、5%から8%へ3%上がった時には入館料は変わらなかったのに、なぜ今回は税率の改定幅が2%と前回より小さいのに値上げするのか、理解に苦しみます。

なぜ今回は値上げするのか。増税分を料金に転嫁する考えには前回も今回も変わりはないが、端数処理を百円単位から十円単位に変えたので、今回は増税分を転嫁する対象が多くなった、と説明を受けました。逆に言えば、値上げするために端数処理の単位を改めた、ということであり、一貫性があるとは言えません。

地方公共団体が管理運営する市内の主な集客施設では、東山動植物園も名古屋城も名古屋市科学館も愛知県美術館も入場料は消費税が5%から8%になった時も、今回10%にするという時点でも値上げされていません。

消費税の増税が水族館の経営を苦しめることは確かですが、ここが踏ん張りどころです。この入館料の改定によって見込まれる増収は約3500万円です。名古屋港水族館は名古屋港振興財団が指定管理者として運営しています。利用料金制度のもとで、水族



館の運営は基本的に入館料収入で経費をまかなわれており収支差は管理組合が受け取り振興基金に積み立てます。指定管理の8年間では4億2千万円を納付する収支計画となっており、新年度では今年度の収支差に当たる6200万円が納付される予算となっています。つまり単純化すれば、3500万円の増収がなくても、財団から管理組合に納付されるお金が減るだけであり、すぐに財政的に行き詰まるわけではありません。

金額的にはわずかな値上げによる増収よりも、消費税の税率が変わっても値上げせずにがんばっている、とアピールの方がよほど入館者の増加につながり、経営的にもプラスになるのではありませんか。

そこで河村管理者にうかがいます。消費税の増税に伴う料金改定は様々ありますが、少なくとも水族館の入館料の値上げは見送るべきではありませんか。答弁を求めます。

政府がとろくさいことをやるからこうなる。としか言いようがないが、しょうがないでちょっと負担させて（管理者）

【管理者（市長）】わしがやったんでない。政府がとろくさいことやるもんでこうなった。国際的に景気の後退が言われる状況の中で、消費税を上げるなんてとんでもない。なんで名古屋が被らないかのか、頑張るのも一つだけど、どうも不条理です。

しょうがないでちょっと負担さしてちょう、国が

名古屋港水族館入館料（個人・年間以外は1人1回の料金）			
区分		現行料金	改定料金
水族館のみ	1人1回	大人	2,000円
		小・中学生	1,000円
		幼児	500円
	年間入館料	同一人1年間につき	同一人1年間につき
		大人	5,100円
		小・中学生	2,500円
		幼児	1,200円
		家族購入で	家族購入で
		大人	4,600円
		小・中学生	2,200円
		幼児	1,000円
	夜間	大人	1,600円
		小・中学生	800円
		幼児	400円
	愛知県在住65歳以上	1,000円	1,010円
4館共通	1人1回	大人	2,400円
		小・中学生	1,200円

やったんでいかんだぞ、というよりしょうがない。そんな気持ちです。申し訳ないけど、お願いします。

10月まではまだ日がある。考えなおさない（意見）

【山口議員】管理者の胸の内は聞かせていただいた。確かに景気の動向は大変です。名古屋港の貨物の動向からも世界経済の不透明感が見えてきます。中国向けの貨物、とりわけ自動車部品の輸出がガクンと落ち込む状況は深刻です。景気動向からも消費税の10%への増税は行うべきではありません。

値上げ条例の施行日は今年10月1日ですが、あくまでも利用料金の上限を改定する条例です。まだ考え直す時間はあります。値上げにより入館者数への影響もよく考えていただきたい。

いまのままで水族館だけ値上げする、と言われるますよ。値上げをしないことで、県民・市民から、さすが名古屋の水族館、と言われるように、よく考えていただき、思いきった決断を強く求めます。



障害者に付き添う介護者の入館料免除の拡充を

【山口議員】名古屋港水族館には、多くの障害を持った方々が来られます。ペンギンやイルカは特に人気です。雨の日でも予定を変えずに楽しめる場所としても、ありがたい、と多くの方から聞いています。

名古屋港水族館では、いま障害者手帳などを持つ本人には入館料を全額免除するとともに、多くの障害者については本人だけでなく介護者一名の入館料が全額免除となっています。

民間の水族館の多くが障害者やその介護者については入館料の割引にとどまっているなかで、公的な団体が運営する水族館の多くは名古屋港水族館と同様に、障害者本人に加え介護者一名の入館料免除としています。

介護者の入館料免除は多くの障害者や介護に従事する方々にとって大切な制度となっています。

しかしながら障害者の社会参加が進んでくる中で、

重度の身体障害をお持ちの方や行動障害を伴う自閉症や知的障害の方の外出には介護者が一人では間に合わないケースも増えてきています。

多動で走りまわる、予測がつかない突発的な行動がある、同性介護が基本なのでトイレ介助には一人では対応できない、などなどです。

水族館に行くのを楽しみにしているが、介護者の負担がきつくてなかなか行事が組めない、という声もうかがいました。

そこで調べてみると、「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律」いわゆる、「障害者総合支援法」にもとづく行動援護などの障害福祉サービスでは、障害のある方の状況により、二人介護が認められています。行動援護など国のサービスであれば余暇活動においても二人介護が可能であり、障害者の社会参加を促進する役割を果たしています。

名古屋市内の主な集客施設では、東山動植物園、名古屋城、名古屋市科学館などでは介護者二人まで入館料が免除されています。市営交通機関では介護者三名まで無料となるケースも認められています。

「愛知県障害者差別解消推進条例」に続き、名古屋市でも、「名古屋市障害のある人もない人も共に生きるための障害者差別解消推進条例」が制定されました。障害を持つ方への合理的配慮がこれまで以上に求められます。

施設のハード面だけでなく、ソフト面でもバリアフリーの促進が求められる時代です。他の水族館が入館料免除は一人だけだから、という横並び意識を変えましょう。

そこであかがいます。愛知県名古屋市にある公的な水族館として、必要な障害者には複数の介護者の入館料を免除すべきではありませんか。

他の水族館の動向も見て考える（部長）

【関連事業担当部長】身体障害者手帳等を持つ本人とその介護者1名を全額免除しており、国内の公共の水族館において、概ね同様と聞く。

国内の公共の水族館等の動向を見据えつつ、対応したい。

他の水族館との横並びでなく、名古屋市の他の施設並みの配慮を（再質問）

【山口議員】担当部長答弁は、典型的な横並びの発想です。バリアフリー先進都市、名古屋の水族館として、市内の公共施設並みの合理的配慮をすべきではないでしょうか。必要な方には複数の介護者の無

料付き添いを認める。全国の水族館の中でぜひ先陣を切って名古屋港水族館でこそ実現していただきたい。

障害者に付き添う介護者の入館料減免の拡充について管理者答弁を求めます。

障害があってもきた人みんなで楽しんでもらうことが大事（管理者）

【管理者】不自由な人にも来てもらって、楽しんでもらう、水族館を。そちらの気持ちのほうをはるかに重要であって、当然のように、無料だったら無料にするように、そういう風にやりなさいと昨日言ったところです。

介護者みんなを無料にするということなので一刻も早い実施を（意見）

【山口議員】無料にしていただけると理解していいですね。やり取りの中では、収支への影響も研究するということも聞いた、ところが、水族館は障害者が何人入館しているか、介護者が何人入場してるのかも把握していない。それで収支への影響と言われても納得できない、ときつく言おうと思っていたが、今管理者からは非常に前向きな答弁をいただいた。愛知県も名古屋市も障害者の差別を解消するための条例をもった。その町にある水族館にふさわしい合理的な配慮を充実してもらうよう、直ちに実施するよう要望しておきます。

国際バルク戦略港湾について

国際バルク戦略港湾からの撤退を

【山口議員】名古屋港は2011年に国際バルク戦略港湾に穀物（とうもろこし）で選定され、2012年には、北浜ふ頭にバルク関連の栈橋、大水深の泊地、企業用地用の埋立を行うことを名古屋港の港湾計画に追加して位置づけました。

この間、計画を進めるための調査費として組合の自主財源から約4億円を支出してきましたが、2015年度以降は、バルク関連の予算は4年間、一円も計上されていません。

国際バルク戦略港湾に関する事業は事実上、凍結されています。なぜか。

一つは整備のための費用が多額になることです。2011年度からの調査によって、土質調査により軟弱な地盤層が厚く堆積していることが確認され、検討の結果、埋立護岸整備費が当初試算の200億円から約

600億円に増加することが明らかになりました。

二つめに民間企業に依存した計画であることです。国際バルク戦略港湾には穀物・鉄鉱石・石炭で計9港湾が選定されましたが、事業着手したところは5港。いずれも公共岸壁であり、国の直轄事業として、岸壁や航路・泊地の整備が進められています。ところが名古屋港のように民間ふ頭の整備という事業手法の港はどれも事業に着手していません。

民間岸壁の整備には民間の投資が必要ですが、TPP11とかアメリカとの新たな貿易協定といった貿易の自由化の影響が不透明で、民間企業は新たな投資に慎重な姿勢を示しているのです。

そして国の姿勢です。国策だと言いながら、港湾整備に係る国からの特別な支援は何もないことがはっきりしました。膨大な負担を地元の港湾管理者と関係企業に求めるだけ、とても国策とか国際戦略と呼べるようなものではありません。

新年度予算には国際バルク戦略港湾に関するものは今年も一円も計上されていません。これで5年間、一円も予算がつかないわけですが、企画調整室にはバルク戦略担当がずっと置かれています。このままでいいのでしょうか。

そこどうかがいます。国際バルク戦略港湾はもはや実現の見通しが無いのではありませんか。いまが潮時です。名古屋港として国際バルク戦略港湾からの撤退を表明する時ではありませんか。答弁を求めます。

状況変化を見ながら、関連企業や国と協議をする

【企画調整室長】名古屋港は、2011年5月に穀物で国際バルク戦略港湾に選定され、この計画実現に向け、穀物関連企業との協議や新食糧コンビナート用地の埋立免許取得に必要な調査などを行ってきた。

しかし、埋立計画地の護岸整備費が当初想定した約200億円から約600億円に増加することが明らかとなり、また、選定時以降、穀物輸入を取り巻く環境が大きく変化し、社会経済情勢においてもTPP11協定や日米物品貿易協定（TAG）等による穀物需要への影響程度が不透明で、穀物関連企業は計画の具体化に向けた民間投資に慎重な姿勢を示しており、本組合としては、計画内容の検証を進めている。



名古屋市政資料No.202（名港議会2019年3月定例会）

今後、状況変化を見据えながら、穀物関連企業や国と協議を行っていく。

国の予算がないのに担当を置く組織体制は見直しを（意見）

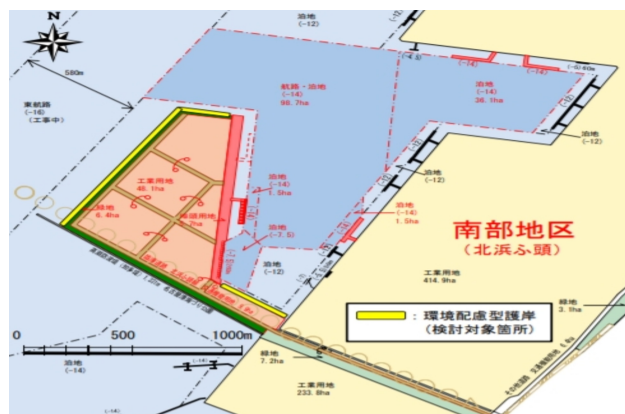
【山口議員】国際バルク戦略港湾については、状況変化を見据えながら関連企業や国とも協議する、との答弁でした。提案されている予算書にも国際バルク戦略港湾に関するものは影も形もありません。もう5年目に入ります。企業は投資に慎重な姿勢を崩していません。

国に対して、計画そのものの見直しや名古屋港からの提案取り下げなど、事業からの撤退を見据えて、はっきり態度を表明する段階です。

予算がないのに担当を置いている組織体制についても見直すべきです。

新年度中に、方向性をはっきりさせ、何らかの決断をされることを強く求めています。

北浜ふ頭の埋め立て計画



北浜ふ頭の立地（国際バルク先着港湾の計画書から）

